

2002年へ
タイムスリップ。

ITの進歩は続くよどこまでも

DAIDO INFORMATIONも発行100回目を迎えました。1回目は2002年6月に発行されましたが、その間にもITは進歩を続けてきました。ドッグイヤーと呼ばれるほどに進歩の速いIT業界ですが、この約8年の間にどれくらいの進歩をとげたのが振り返ってみましょう。今では当たり前前と知っているものが、当時は存在すらしていないものがあつたりして、進歩の速さを体感できると思います。さらに200回目がでる頃にはどんな世の中になっているのか、大胆予測してみましよう。

時代と共に、技術は常に進歩する

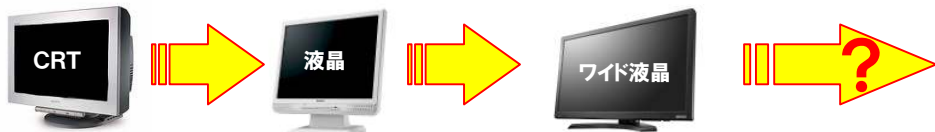
新製品、新技術は、いきなり広く普及するということはありません。大抵の場合、まず先進的なユーザー（パワーユーザー）が使用して、その後一般ユーザーの使用が広まっていくパターンになります。2002年から現在という流れで振り返ると、以下は現在では完全に一般的に定着していますが、実はこれらは既に2002年頃に一般ユーザーへ浸透する下地ができていたのです。

■掲示板からブログへ進化

2002年頃、既にブログらしきものは存在していましたが、まだIT初心者には手の出しにくいものでした。その後ツールの日本語化や無料ブログサービスが数多く登場して、今のように広く普及しました。日本独特の進化として、携帯電話から写真付投稿できるブログサイトも発生しました。

■時代はブラウン管から液晶ディスプレイへ、そして・・・

2002年にはまだブラウン管のCRTディスプレイも数多く使われていたと思いますが、今では省スペースで省エネの、液晶ディスプレイが一般的です。画面のサイズも15インチから17、19インチ、ワイド型が主流になっています。次の主流は「タッチパネル」？それとも「3D液晶」？



携帯ブログ

次は3D液晶？

■ネット環境と共に、静止画から動画へ

2002年はブロードバンド普及前で、動画コンテンツを配信、閲覧する環境が貧弱でした。その後ブロードバンド普及に伴い、YouTubeを代表とする動画サイトが大人気となりました。YouTubeとGyaO!は2005年から、ニコニコ動画は2006年からサービスを開始しました。ネット動画の歴史は意外に浅いんですね。



8年前はこんな時代でした

2002年のIT業界は、こんな時代でした。今では当たり前の事でも、当時は普及が始まったばかり。過渡期だったんですね。

■パソコン → WindowsXPがシェアNo.1へ躍り出る

OSはWindows98→WindowsXPへの過渡期でした。XP→7への過渡期となっている今と状況は似ていますね。中間のMeとVistaが短命だったところも、なんだか似ていますね。



■記憶媒体 → CD→DVDへ、USBメモリがブレイク

DVD搭載パソコンが普及し始めましたが、今ではほとんど見ないフロッピーディスクやMOも現役で活躍していました。USBメモリも普及し始めましたが、当時の最大容量は256MBでした。

■携帯電話 → 写メール時代到来

カメラ付携帯を先行して発売していたJ-フォン(現ソフトバンク)に追随して、ドコモ、auもカメラ付携帯を発売しました。今でも携帯電話の写真を「写メ」と呼ぶ方は多いのでは？

■通信環境 → ブロードバンド幕開け

ISDNのテレホーダイの時代から、2001年にYahoo!BBがサービスを開始して、いわゆるブロードバンドが本格的に普及し始めました。当時の家電量販店には、キャンペーンの赤い紙袋が山積みになっていましたね。

■webサイト → 画像がメイン 動画はまだ先

ブロードバンド普及前のため、動画コンテンツはまだ普及していませんでした。当然 mixi、YouTube、Googleマップ、Gmailといった今では人気のネットサービスもまだありませんでした。



写メの火付け役 J-SH04

8年後はどうなっている！？

このまま順調にいけば、200号は2018年にできることとなりますが、その頃身の回りのIT環境は一体どのようになっているのでしょうか？ チョッと予想してみましよう。

■どこからでも遠隔操作

家電のインターネット対応が進んでいき、WiMAXなどの高速無線通信網が整備されていくと、どこにいてもインターネット経由で家の中の状態を把握でき、家電の遠隔操作もできます。例えば家を出たあとにガスの消し忘れや鍵のしめ忘れに気づいても、外出先からガスを消したり、鍵をしめたり、ということも可能ですね。これからどんどん対応する家電が増えていくでしょう。



■ケーブルレスな世界

現在も無線LANやBluetooth等の普及が進んでいますが、さらにコードレス、ケーブルレスが進むと・・・電源の無線化が実現すれば「充電」の必要がなくなり、家の何処にいてもノートパソコンのバッテリー切れの心配がなくなります。家に帰るだけで携帯電話の充電が始まる、なんて時代が来るかも知れませんね。



IT業界の進歩は速く、いろんな新技術や新製品が数多く出てきては、淘汰されて行きます。フロッピーディスクに変わるメディアとして登場した「スーパーディスク」や「Zip」。今はどうなっているのでしょうか？ Windows7で導入されたタッチパネル操作「Windowsタッチ」はどうなるでしょう？ 今人気の「Twitter」はどうでしょう？ これからのIT業界、PC環境も目が離せないですね。

開発室から

私の自宅では2002年に購入したXPのノートPCが今でも現役です。バッテリーだけは寿命で充電が出来なくなってしまいましたが、メモリの増設、大容量HDDへの換装で、今でも元気に活躍しています。動画関連の作業はさすがに別のマシンで行いますが、メールとインターネット、デジカメ画像の閲覧に年賀状の作成など、自宅でのほとんどの作業は今でも8年前のPCで済ませます。あと何年使えるのかな？